

http://park11.wakwak.com/~fma/iren/index.html

2012 第46回衆議院議員選挙

市医連、推薦候補を決定

福岡市医連ニュース

福岡市医師連盟
福岡市早良区
百道浜1-6-9
委員長 江頭 啓介

福岡1区

井上 貴博 氏

(自民党公認・新人)

福岡2区

鬼木 誠 氏

(自民党公認・新人)

福岡3区

古賀 篤 氏

(自民党公認・新人)

各選挙区に1名推薦、

推薦候補と政策協定締結へ

11月16日の衆議院解散を受け、12月4日(火)公示、16日(日)投票のスケジュールで衆議院議

員選挙が実施される。11月22日(木)に開催した第3回常任執行委員会において、本連盟が推薦する

立候補者と締結する政策協定書の内容と立候補予定者の確認を行った。政策協定書については、県医連が示したモデル案に若干修正を加える形とすることとした。

日医連は衆院選についての活動指針として「各都道府県医連からの推薦要請に基づき、時々の政治情勢等を踏まえ、日医連が決定することを基本とする。また、党派にかかわらず、医師国会議員を中心に日医連として重点的に推薦する議員(候補)を定め、日医連並びに各都道府県医連・郡市区医連が一致結束して、当該議員(候補)の当選を期す」との考えを示しているが、本連盟では、これを踏まえて、各区からの推薦候補を市医連の推薦候補とすることとし、併せて本連盟が示す政策協定(次頁参照)に賛同する候補者のみ推薦することとした。なお、各選挙区の常任執行委員同士が連携を密に取り、連盟員の総意・合意を取り纏めながら、各区の推薦候補を決定して頂くこととした。

対する最終的な意向を確認し、引き続き開催された第3回執行委員会にて、政策協定の内容が承認されるとともに、各選挙区の推薦候補3名を満場一致で決定した。これにより、来週早々の12月3日(月)に各推薦候補と政策協定を締結し、推薦状を手交する運びとなっている。

12月16日(日)の投票票まであと16日間。短期決戦である今回の選挙は、民主党対自民・公明党に『第三極』が絡み合う三つ巴の構図が予想され、29年ぶりとなる師走選挙に熱い火花がほとばしる。江頭委員長は「本連盟の推薦候補には、是非当選して頂き、推薦議員の先生方と共に更なる医療・保健・介護・福祉の充実・発展を目指していきたいと考えておりますので、連盟員各位のより一層の回結と積極的なご支援・ご協力をお願い申し上げます」としている。

<http://park11.wakwak.com/~fma/iren/index.html>

政策協定書（参考）

第四十六回衆議院議員総選挙において、医師会 太郎 候補と、福岡市医師連盟委員長 江頭 啓介 は次の内容について政策協定を締結する。

記

医師会 太郎 候補は、左記の政策協定事項を鋭意実現するものとする。

また、福岡市医師連盟は、医師会 太郎 候補の当選に向けて一致団結して取り組むものとする。

政策協定事項

- 一、国民医療の更なる充実・強化を図り、国民皆保険を堅持する。
- 一、経済格差等により、国民間で、医療・介護の享受に当たって格差が生じないよう万全の体制を講じる。
- 一、国民皆保険を崩壊へと導く市場原理主義は導入しない。
- 一、TPP問題については、将来にわたって日本の公的医療保険制度に影響を及ぼすことがないように措置する。
- 一、控除対象外消費税問題については、医療機関の負担にならない課税制度に改めるものとし、その際、患者負担を増やさない制度に改善する。
- 一、二次医療圏における地域医療再生に向けた基盤整備と、地域が抱える医療課題への早期取り組みを行う。
- 一、地域医療の重要な担い手である准看護師の積極的な養成を継続する。

第46回衆議院議員選挙における本連盟推薦候補者

井上 貴博 氏(福岡1区)
(自民党公認：新人)



昭和37年生(50歳)
昭和63年 獨協大学法学部卒
平成15年 福岡県議会議員選挙に初当選
福岡県議会厚生労働環境委員会
福岡県議会空港対策調査特別委員会委員長

鬼木 誠 氏(福岡2区)
(自民党公認：新人)



昭和47年生(40歳)
平成 7年 九州大学法学部卒
平成 7年 西日本銀行入社
平成15年 福岡県議会議員選挙に初当選
福岡県議会警察委員会委員長
福岡県議会少子・高齢化社会対策調査特別委員会

古賀 篤 氏(福岡3区)
(自民党公認：新人)



昭和47年生(40歳)
平成 9年 東京大学法学部卒
平成 9年 大蔵省入省
平成13年 経済産業省商務情報政策局
平成15年 大臣官房
平成17年 国税庁長官官房
平成18年 主計局
平成22年 内閣府地域主権戦略室
平成23年 金融庁総務企画局